

# 粘り強く、マイノリティ女性による アンケート調査結果に基づく政府交渉

(記録・まとめ IMADR-JC事務局)

マイノリティ女性によるアンケート調査に基づく政府交渉が2008年11月28日に行なわれた。

交渉は、2004年から05年にかけてアイヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性が実施したアンケート調査の結果を踏まえ、政府への提言内容の実施を要請するもので、前年に続き2回目の開催となった。マイノリティ女性の課題は「個別の問題」とされ、調査を行なうまでは政府への面会もかなわなかった。そのため、参加者の裾野を広げながら、年に一度は対話の回路として交渉を持つことを定着させる意図もあった。調査にとりくんだ社団法人北海道ウタリ協会札幌支部、部落解放同盟中央女性運動部、アプロ女性実態調査プロジェクトだけでなく、関東在住のアイヌ女性や在日朝鮮人女性が参加したほか、女性運動に関与する複数の団体からの参加もあり、連帯の裾野の広がりが感じられる交渉となった。当日は、松岡徹・福島瑞穂両参院議員の参加を得て、内閣府をはじめ各省庁からの参加者約40名にマイノリティ女性の実態調査や差別禁止法制定など23項目の実施を迫った。

2003年に行なわれた女性差別撤廃委員会日本報告書審査とその後の日本への勧告で、同委員会はマイノリティ女性に関する教育・雇用・健康・社会福祉・暴力に関する包括的なデータの提出を日本政府に求めている。また、同委員会は、今年7月に開催される女性差別撤廃条約の第6回日本報告書審査に向けて事前に日本政府に質問書を送り、同様の要請を行なっている。しかし、政府はマイノリティ女性に関する情報を持っていない上、内閣府男女共同参画局は政府として調査を実施する意思をまったく示さなかったため、参加者から政府の姿勢をただす声が相次いだ。

そもそも国の女性政策の中に、マイノリティ女性の視点はない。まずは政策決定に影響を及ぼす人びとに直接現状を知ってもらうため、男女共同参画会議のもとにある各専門調査会で、アンケート調査の結果などマイノリティ女性の現状を学習する機会の設定を、と要請した。しかし、男女共同参画局からは特定の講師や教材を推薦する立場にはないと

され、やる気のなさが露呈された。

男女共同参画白書やパンフレットなどにマイノリティ女性に関する記述が一切ないことから、多様な背景をもつマイノリティの女性の情報を、という要請には、確約はできないと回答された。

アンケート調査の結果、自由記述の欄でも、差別の禁止を求める声が多かったことから、差別禁止法の制定について求めたところ、人権擁護法案の提出を検討する、と回答にとどまった。また、インターネット上に実際に自らの写真が掲載された差別事件については、犯人が特定できず対応が難しいと回答され、現状の法制度の不備があらわになった。

民族教育の保障では、教育者がアイヌ民族の歴史などについて学ぶ必要性や、道外のアイヌ民族の権利、複合差別の視点などを盛りこむよう強く求めた。在日コリアンの民族教育については、文科省が言葉や文化の学習状況データを提示したものの、数値以外の情報については把握していなかった。民族学級の設置や総合学習のなかで時間を確保する考えについては、「市町村の判断であり、母国語を学ぶ権利はあると認識しているが、権利として保障すべきかということには答えられない」、と明言を避けた。このため、母語や日本語教員の加配などを検討するよう求めた。

在日コリアンの集住地域で高齢の在日コリアン女性が認知症のため母語しか話せなくなり、民生委員とコミュニケーションがとれず困っている。そのため、地域を限定し、民生委員選出の際の国籍条項を外し、母語を話せる在日コリアンの登用を可能にする特区申請を認めるようかねてからの要請を行なったが、国籍要件を廃止できないと回答された。

識字教室など教育支援では、生い立ちと学びへの思いを語るとともに、識字教室の継続へ支援をと訴えた。

このほかどの問題も、政府は現行の法制度の説明に終始し、なかなか具体的な成果は得られなかった。これらの課題は、マイノリティ女性だけが声をあげていても実現はおぼつかない。思いを共有する人びとの輪が広がり、知恵と力が集積され、ともにこれらの課題を実現していけるよう、協力を呼びかけたい。



政府交渉の様子。左側が女性たちと松岡・福島両議員、右側が各省庁からの参加者（2008年11月28日、参議院議員会館）。

\*女性たちが行なったアンケート調査結果の内容や提言、女性たちの声は、『立ち上がりつながらるマイノリティ女性——アイヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性によるアンケート調査報告と提言』（2007年、IMADR-JC発行、解放出版社発売、定価2,200円）参照。購入の問い合わせはIMADR-JC事務局へ。ウェブサイト（[www.imadr.org](http://www.imadr.org)）の出版物コーナーからも注文可。